



OSJBホールディングス株式会社

アンケートご協力をお願い


同封のアンケートハガキにご記入のうえ、ご投函くださいますようお願い申し上げます。

抽選で400名の株主様に「QUOカード(500円分)」をプレゼントいたします(詳細は本冊子P6に記載)。

証券コード：5912

第3期 中間株主通信

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



人と技術を活かし、
社会基盤整備に
貢献します。

トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第3期上半期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 井岡 隆雄

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済に弱さがみられるなか、輸出、生産はおおむね横ばいで推移しており、企業収益は高い水準にあるものの改善に足踏みがみられ、設備投資の持ち直しの動きにも足踏みがみられます。個人消費は、雇用情勢の改善、雇用者所得の緩やかな改善のなか総じて底堅い動きとなっており、景気には弱さもみられますが基調としては緩やかな回復が続いています。

公共投資につきましては、国の平成28年度一般会計予算では、補正予算措置が講じられ、補正後の公共事業関係費は前年度を上回っています。当四半期における公共工事請負金額は前年比増と底堅い動きとなっており、先行きについては補正予算による押し上げ効果が見込まれます。

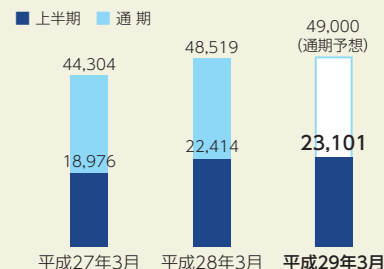
このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期

経営理念

人と技術を活かし、
社会基盤整備に貢献します。

連結決算ハイライト

売上高 (単位:百万円)



間の受注高は、383億9千2百万円(前年同四半期比40.3%増)となりました。ニューマチックケーソン工事をはじめとする建設事業での順調な受注獲得が主要因であります。当第2四半期連結会計期間の主要な受注は、以下のとおりであります。

建設事業

- **ニューマチックケーソン工事**
清水・竹中土木・足立JV
「広川ポンプ場(官)」
- **コンクリートの新設橋梁工事**
国土交通省東北地方整備局
「大沢第1橋外上部工事」
- **橋梁の補修補強工事**
東日本高速道路株式会社
「東北自動車道広瀬川橋床版取替工事」
- **一般土木工事**
株式会社中村組
「平成28年度東海環状大木橋梁下部工事」

鋼構造物事業

- **鋼構造の新設橋梁工事**
兵庫県
「(国)2号和坂拡幅林崎橋上部(工場製作)工事」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗が順調に推移したことにより、売上高は231億1百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注および売上の状況により、554億1千6百万円(前年同四半期比14.7%増)となりました。

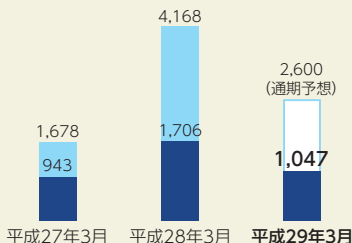
損益面では、売上総利益は29億8千万円(前年同四半期比14.1%減)、営業利益は10億4千7百万円(前年同四半期比38.6%減)、経常利益は10億6千万円(前年同四半期比38.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億3千1百万円(前年同四半期比46.8%減)となりました。

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想数値から変更はございません。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

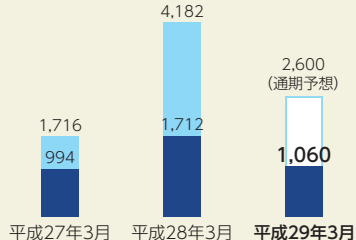
営業利益 (単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



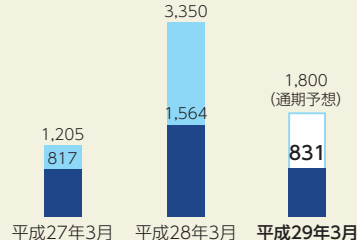
経常利益 (単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



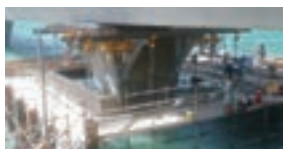
池間大橋補強工事



全景1



全景2



鋼板組立状況



圧入状況

本工事は、沖縄県宮古島と池間島とを結び全長1,425mの池間大橋の橋脚のうち、P19・P20・P21橋脚を当社の特許工法であるSTEP工法により仮締切りを設置し、耐震補強工事を行うものです。従来の鋼矢板による締切りに対し、STEP工法はフーチング基礎天端に締切り、鋼板を設置する『基礎天端設置形状』により、締切り形状を小さくすることができます。これにより、浚渫量を軽減し、鋼矢板引抜時の騒音振動がないため、周辺環境への影響を少なくすることが可能となります。加えて既設橋脚への影響も軽減できます。

沖縄県は台風が頻繁に通過するため、発注者との連絡を密に行い、設備の補強や退避・復旧を繰り返しながら作業を進めています。

契約工事名称	池間大橋補強工事
発注者名	沖縄県（支庁）宮古支庁→ （丸善組（P19橋脚））（南松宮開発（P20橋脚）） （南浜建設（P21橋脚））
工事場所	沖縄県宮古島市平良字池間
工期	平成28年4月1日～平成29年1月30日
工事概要	STEP工法による仮締切り工 締切鋼板の形状 8.0m×8.0m×H6.7m×2組 7.5m×7.5m×H6.7m×1組、締切鋼板の重量100t、支保工重量40t、30t圧入ジャッキ×12本、5t電動チェーンブロック×48台、掘削土量36m ³

広前橋外上部工工事



広前橋セグメント取卸



広前橋主桁架設



ドローンによる空撮



石田川橋フレン架設



ECFストランド緊張

本工事は『復興支援道路』の一環である一般国道115号相馬福島道路の橋梁上部工工事です。広前橋はPC2径間コンボ橋で前後にトンネルがある山間の場所にかかる橋梁です。橋脚高さはおよそ25mと高く、国道からの進入路が急勾配で、ヘアピンカーブと難所を経由しないと到達できない場所に現場があります。工場で製作したセグメント桁を現地にて120tクレーンで取り下し、接合した後自走台車で引き出し、門型架設機で架設しました。縦断線形が4%と急勾配である上に平面線形もあるため、架設にはいろいろな調整が必要でした。直下に市道があるため橋梁足場は板張り防護をしています。石田川橋は架橋地点が国道のすぐ脇にあるONランプ橋であり、夜間にポルトレーラーで搬入したプレテンションT桁を日中200tクレーンで架設しました。

契約工事名称	広前橋外上部工工事
発注者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所
工事場所	福島県伊達市霊山町石田地内
工期	平成27年12月1日～平成28年11月11日
工事概要	[広前橋]ポストテンション方式PC2径間連結コンボ橋（プレキャストセグメント工法）橋長81.000m、桁長40.000m+40.000m、支間長38.900m+38.900m、有効幅員1.750m+8.500m+1.750m、主桁本数8本、B活荷重 [石田川橋]プレテンション方式PC単純T桁橋、橋長19.200m、桁長19.100m、支間長18.500m、有効幅員5.500m、主桁本数6本、B活荷重

津市産業スポーツセンター建設工事



鉄筋組立状況



CON打設状況



現場搬入



架設状況



架設状況

本工事は、公共施設のスポーツセンターにおける屋根部分をプレキャスト部材により施工しています。使用するプレキャスト部材は長さ15.9m、部材重量約28tという長尺重量部材であり、加えて断面は厚さ140mmで複雑な曲面版形状となっています。したがって、製作・運搬および架設計画には留意する事項が多数あり、その中でも特に製作・運搬には綿密な事前計画が必要でした。製作に際しては、複雑な部材形状に対応できる高流動コンクリートを使用しました。また、同じ断面の打設試験体を製作し事前に仕上がり具合を確認しました。製品の運搬にはポルトレーラーを採用し、事前に空荷の状態でご材にねじれ等が生じないかを検証しました。このように部材製作工場にとっては、非常にレベルの高い現場でした。

完成すれば、幅約13m、長さ約80m、高さ約10mの大空間ができ、選手がウォーミングアップを行う場所の屋根となります。ちなみに当施設は、地元(三重県)の大スター吉田沙保里選手の偉業を称えて「サオリーナ」という名称になるとのことです。

契約工事名称	津市産業スポーツセンター建設工事
発注者名	三重県津市⇒清水・日本土建・東海土建JV
工事場所	三重県津市北河路町及び納所町地内
工期	平成27年4月1日～平成29年6月18日
工事概要	プレキャスト屋根版(プレテン)の製作・運搬 プレキャスト屋根版の架設

白川橋応急復旧工事



熊本地震・被災

平成28年4月14日に発生した熊本地震を受け、伸縮装置の段差・ズレ、固定支承のピンが破断する等の損傷が発生しました。



損傷状況



応急復旧工事



夜間作業

工事着工

工事施工指示を受け、最小限の準備をして6月2日から着工。7月下旬の通行止め解除予定に対し、約3週間後の6月26日に無事通行止め解除を実施することができました。

この結果は、被災地域の方々下一刻でも早く元の日常を取り戻していただきたいという思いで工事に携わったすべての人々の努力の賜物です。

応急復旧工事を終えて

6月26日の通行止め解除のその日、いつもこの橋を使っていたであろう専門学校の生徒さんから微笑みながら一言「お疲れ様でした」と声を掛けられた時、「これこそが私たちの仕事なんだ」と改めて感動を覚えました。

今後は災害査定を進め、濁水期に向け本復旧が始まる見通しです。まだ本復旧工事は発注になっていませんが、縁があり当社が請負うこととなった暁には、安全第一で地域の皆さま方に喜ばれる工事を行いたいと思います。




会社概要

商号	OSJBホールディングス株式会社
	 OSJBホールディングス株式会社
創業	平成26年(2014年)4月1日
資本金	10億円
従業員数	(連結)851名
事業内容	グループ企業の経営計画ならびに管理
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
URL	http://www.osjb.co.jp/
上場証券取引所	東証 市場第一部
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行

取締役および監査役

代表取締役社長	井岡 隆雄
取締役	高井 繁
取締役	坂下 清信
取締役	橋本 幸彦
社外取締役	土橋 昭夫
社外取締役	住江 清
社外取締役	大即 信明
常勤監査役	久米 清忠
社外監査役	平井 利明
社外監査役	桃崎 有治
社外監査役	小林 弘幸

グループ会社概要

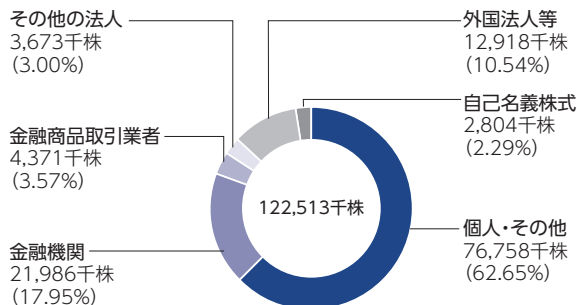
商号	オリエンタル白石株式会社
	 オリエンタル白石株式会社
創業	昭和27年(1952年)10月21日
資本金	5億円
従業員数	692名
事業内容	プレストレストコンクリートの建設工事 および製造販売 ニューマチックケーソンの建設工事 補修補強の建設工事 耐震補強建築工事の設計・施工 建設資材の販売 太陽光による発電事業および その管理・運営ならびに電気の供給、販売
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
URL	http://www.orsc.co.jp/
代表者	代表取締役社長 井岡 隆雄

商号	日本橋梁株式会社
	 日本橋梁株式会社
創業	大正8年(1919年)7月7日
資本金	4,000万円
従業員数	118名
事業内容	橋梁等の鋼構造物の 設計・製作・架設工事
所在地	大阪府大阪市西区江戸堀一丁目9番1号
URL	http://www.nihon-kyoryo.co.jp/
代表者	代表取締役社長 坂下 清信

株式の状況

発行可能株式総数	138,809,400 株
発行済株式の総数	122,513,391 株
株 主 数	28,610 名

所有者別状況



大株主

株 主 名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,637,200	8.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,794,500	4.84%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	2,735,200	2.28%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,356,000	1.13%
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,177,700	0.98%
株式会社SBI証券	963,000	0.80%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	881,100	0.73%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	878,859	0.73%
DEUTSCHE BANK AG LONDON - PB NON-TREATY CLIENTS 613	836,400	0.69%
双日株式会社	730,000	0.61%

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数を分母に用いて算出しております。

株主様アンケートご協力のお願い

抽選で400名の方に『QUOカード(500円分)』プレゼント

昨年度に引き続き株主様アンケートを実施させていただきます。

ぜひ、皆様の株式投資に関する考えや当社グループへのご意見をお寄せください。

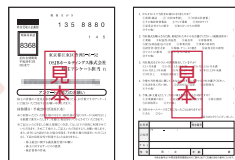
今後の経営およびIR活動の参考とさせていただきます。

回答方法は、同封のハガキに記載のうえ、ご郵送くださいますようお願いいたします。

なお、株主番号は「中間決算関係書類送付のご案内」右下に記載の8桁の番号になります。

①

必要事項を記入



②

情報保護シールを貼る



③

ポストへ投函



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
※当事業年度における中間配当はございません。

公告方法 当会社の公告方法は、電子公告とする。
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

(同連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711

単元未満株式の買取制度について

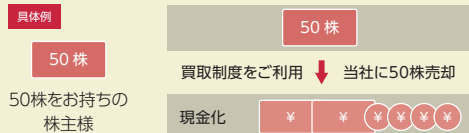
当社では証券市場で株式を売買できる取引単位(単元株式)を100株とさせていただいており、単元未満株式(1~99株の株式)については、証券市場においては売買することができません。

そのため、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(単元未満株式の買取請求)がございます。

単元未満株式の買取請求に関するお手続きの詳細については、お取引先の証券会社等(口座管理機関)にお問い合わせのうえ、お手続きください。また、特別口座に記録されている単元未満株式の買取請求をされる場合は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせのうえ、お手続きください。

単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。



表紙写真について

住吉橋(兵庫県)開通式 平成28年9月
施工者: 日本橋梁(株)



OSJBホールディングス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号(NBF 豊洲チャンネルフロント)
TEL.03-6220-0601 FAX.03-6220-0602 URL.<http://www.osjb.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。